

新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
新 横 浜 出 張 所 発 行
電 話 0 4 5 - 4 7 6 - 5 0 0 3
2010年10月06【号 外 3】

XバンドMPLレーダでゲリラ豪雨を素早くキャッチできます
雨雲を250m四方に区切り1分毎の移動の様子を観測しています



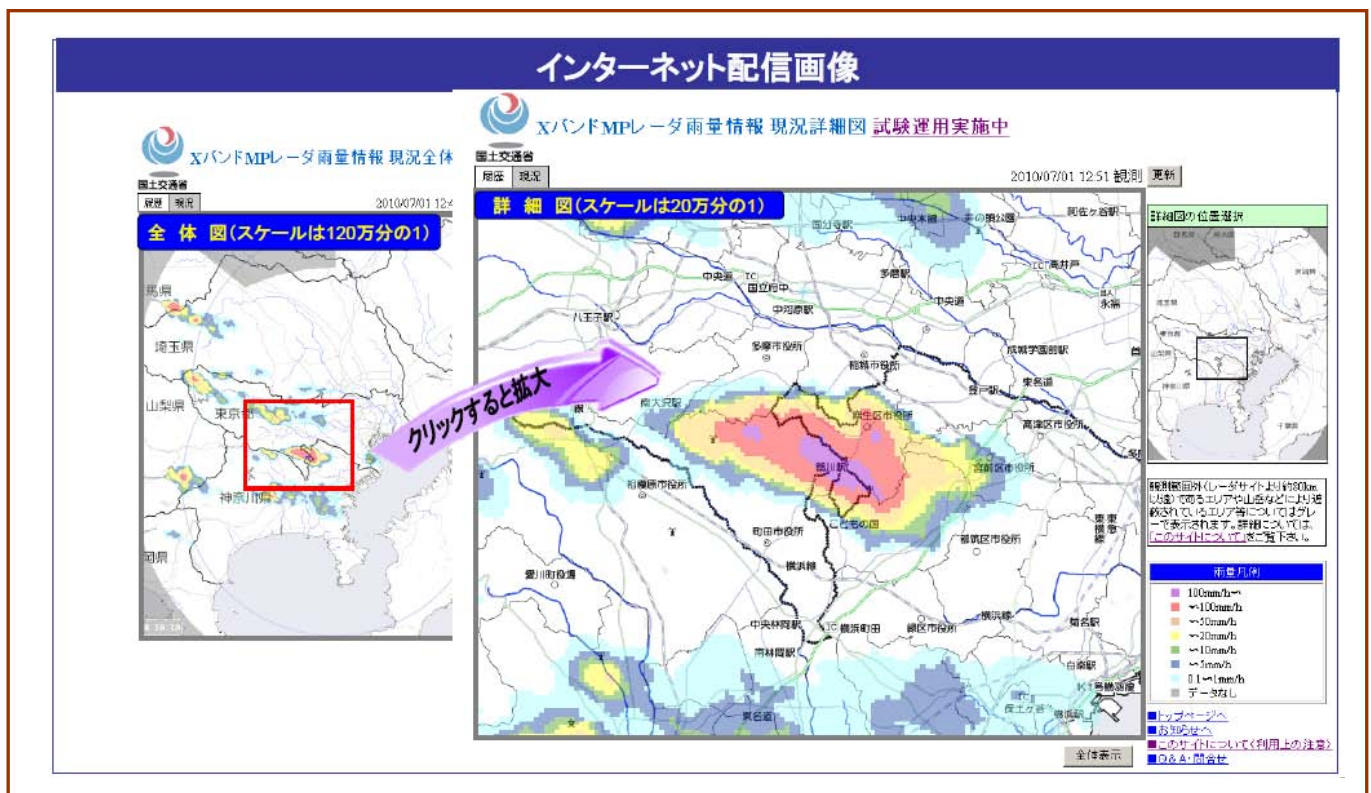
この頭の部分が X バンド MP レーダです

近年、神戸市の都賀川や金沢市の浅野川など、局地的な大雨（ゲリラ豪雨）や集中豪雨による浸水被害が頻発しています。このため国土交通省では、このような水害に対し適切な水防活動や河川管理を行うため、3大都市圏等（関東、北陸、中部、近畿）に11基のXバンドMPレーダを設置しました。

関東地方整備局管内では、今年7月から試験運用を開始しました。

レーダは、遊水地管理センター脇の鉄塔に着いています。

何処で強い雨が降っているか見ることが出来ます



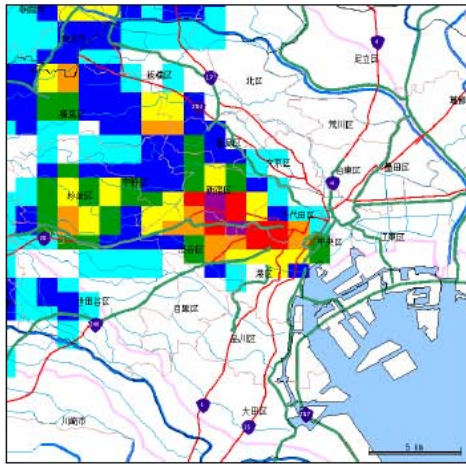
XバンドMPレーダは雨域画面が分かりやすくなります

XバンドMPレーダは、下図でも明らかなように従来のレーダに比べて、雨域が分かりやすく配信時間も早くなっています。国土交通省では、平成22年7月からこのレーダによる降雨観測情報（WEB画像）の一般配信を行っています。関東地方整備局では、2箇所（さいたま市、横浜市）に設置しているレーダの降雨観測（試験運用）を開始しました。次のサイトをご覧ください。

<http://www.river.go.jp/xbandradar/>

【既存レーダ(Cバンドレーダ)】

(最小観測面積:1kmメッシュ、観測間隔:5分
観測から配信に要する時間 5~10分)



【XバンドMPレーダ】

(最小観測面積:250mメッシュ、観測間隔:1分
観測から配信に要する時間 1~2分)



・高頻度(5倍)
・高分解能(16倍)

※Cバンドレーダ(定量観測半径120km)は広域的な降雨観測に適するのに対し、XバンドMPレーダ(定量観測半径60km)は観測可能エリアは小さいものの局地的な大雨についても詳細かつリアルタイムでの観測が可能。

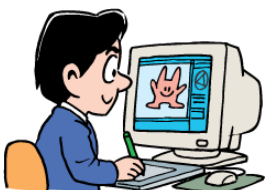
関東地整管内のXバンドMPレーダ配置図



横浜市、さいたま市に各1基設置
定量観測半径60km(赤枠)

雨の降っている区域
が分かりやすくなったぞ

遊水地管理センター案内図 (鶴見川流域センター・新横浜出張所)



東京都・神奈川県内は、ほとんど見えるぞ